

第4回輪島市本庁舎等整備審議会

開催日時	平成30年7月25日(水) 15:00~17:00
開催場所	輪島市役所3階 大会議室
出席者氏名	○審議会委員 11名 谷口寛会長、高野哲男副会長、里谷光弘委員、山本利治氏(輪島市観光協会前田義則委員代理)、日南尚之委員、上畠忠雄委員、元井孝司委員、水口トモ子委員、七浦正一委員、前野智美委員、大工利彦委員 ○事務局 5名 総務部長 中山由紀夫、本庁舎等整備室長 中村義男、財政課長 木下充、本庁舎等整備室次長 宇羅良博、本庁舎等整備室整備係長 田中洋子 ○アドバイザー 2名 株式会社計画情報研究所
欠席者氏名	山市新太郎委員
議題	(1) 庁舎整備方針の評価 (2) 文化会館整備方針の整理
会議内容	別紙のとおり
会議資料	(資料1) 本庁舎及び文化会館整備パターン (資料2) 本庁舎パターン別建設イメージ (資料3) 文化会館整備方針の整理 (参考資料1) 輪島市土砂災害ハザードマップ (参考資料2) 石川県津波浸水想定区域図

■会議内容

1. 事務局からの報告事項

- ・ 欠席委員の報告 山市委員の欠席を報告

2. 開会

3. 前回の質問事項について（進行：会長）

前回質問があった輪島市のハザードマップの確認について「参考資料 1」及び「参考資料 2」により説明。また、町野支所の耐震性については、新耐震基準で建設された建物であった旨を回答。

3. 議題

議事（1） 庁舎整備方針の評価

- ・ 事務局より「資料 1」及び「資料 2」について説明。
事前に各委員に整備方法に関するアンケートを実施し、意見が多かった、A2 案（既存耐震改修＋防災拠点庁舎増築）、B1 案（現用地で新築）、B2 案（既存公共用地で新築）の具体的な整備イメージについて説明。
- ・ 本庁舎整備方法の絞り込みについて
（会 長） B2 案の文化会館用地案については、文化会館（事務所棟）を解体し建てる案と、駐車場に建てる案は、検討したが、実現性がないということで、TYPE 別建設イメージの資料には道の駅側の案となっているのか。
（事務局） はい。
（会 長） 各委員に対して事前にアンケートをとり、本庁舎整備パターンの絞り込みをしたということによろしいか。A1 案（既存耐震改修）、B3 案（新用地で新築）、C 案（既存公共施設の活用）をなくし、これ以降 A2 案、B1 案、B2 案で検討するというところによろしいか。
（委 員） はい。

議事（2） 文化会館整備方針の整理

- ・ 事務局より「資料 3」について説明。
文化会館等の施設機能と面積規模、工事費、耐用年数、財源について説明。
- ・ 事務局より評価方法（案）について説明。
前回、評価方法について事務局より提案出来ないかとの意見があったため、それぞれの整備方法について、評価シートを用いて項目毎に◎○△×をつけてはどうかを提案、また事務局で仮に評価を行った内容について説明。

- 評価方法について

(委員) 評価シートの総合評価のところは、事務局としてどのように進めるつもりか。

(事務局) 一人一人に評価していただいたものをまとめるか、事務局で仮に評価したものに対して話し合い、最終的に評価をする方法等が考えられる。

(委員) 評価シートで○や△を付けてあるのは分かるが、これだけ人がいて、様々な意見が出てまとめるのが大変だ。それより、改修なのか、新築なのかをまず決めた方がいいのではないか。有利な財源が使える期限もあり、ずっと議論をして有利な財源を確保出来なくなる方が損のように思える。

- 庁舎整備案の場所について

(会長) 後の文化会館の改修のことを考えると、庁舎がそこに建ってしまうと、改修が困難になるとか、駐車場の問題もあるが、改修し寿命化で済むのであれば、タイムラグがあるので、文化会館周辺は諦めざるを得ない。文化会館をいつ直すか分からないのに、今の狭い敷地に庁舎を持っていくのは無理だと思われる。

(委員) 私も文化会館や健康ふれあい広場は無理ではないかと思う。また旧輪島中も、埋蔵文化財のこともあり、バイパスについても県の方でしないといけないので、有利な財源を使える期限に間に合うか分からない。

(委員) 旧輪島中の所が市の中心地となると、自分が高齢化した時にちょっとどうか。条件的には非常に有利なようにも見えると思うが。

(会長) 何も無いところに引っ越すのが一番効率がいい。答申として一つに絞るのか、いい案を両案出すという方法もある。絞ってしまうと財源も関係なしにこれをやれ、というのも難しいだろう。

- パブリックコメントについて

(会長) 審議会の答申はこのままここで出すのではなく、パブリックコメントも見た上で、最終的な答申をするというプロセスでいいか。

(事務局) 答申をいただいてから、その後にパブリックコメントという形でもいい。

(委員) 答申は、一つの案を出すのか、それともパブリックコメントを受け色々な案を出すのか。

(事務局) 審議会として、どうしても案が2つに分かれ、どちらも入れたいとなれば、2つの案を出していただいてもかまわない。必ずしも1つに絞る必要はないが、絞っていただければ、それはそれでありがたい。

(委員) パブリックコメントはどのような規模や形式、内容で行うのか。

(事務局) 現時点では、ホームページで公開し、1か月程度その内容について意見を求めることを考えている。

(委員) 私は形式にこだわらないので、勝手な提案だが、市役所というのは今後将来、市民がいる限り必要な事務局だ。それには、お金の問題や機能の問

題があり、今回は 20 億円程度しか出さずに、少し不便だが安全にして、後世の輪島市民の負担が増える方がいいのか。もしくは 40 億円かかって、しっかりしたものを造り、70 年ぐらい後までは何とか負担がかからないようにするかという議論だと思う。そのどちらがいいのかという議論ぐらいは審議会で統一しておかないと、答えが出ない気がする。

(事務局) パブリックコメントをとる際、例えば 3 案ぐらいに絞るのか、それとも新築か改築かという 2 つの案でパブリックコメントをとるのか。事務局としては、審議会としてこの方針がいいという答えを出し、それに対して意見をいただく方がいいと思う。

(委員) パブリックコメントに 3 案出すと、様々な意見が出てまとまらない。私も市民の一人として言うと、市の庁舎にそんなに大きなお金をかけずに、もう少し福祉にお金をかけてほしいとか、漆器だったら漆器業界にとか、観光にとか、みんな好きなことを思う。しかしせつかくの審議会なので、どちらか一方にしないと、多分収拾がつかなくなる。

- 審議会の意見集約について

委員より、改修か建替えかについて、各委員の意見を聞いてみてはどうかと提案があり、反対の声がなかったため、一人ずつ意見を言うこととなった。

(委員) 私は B1 案がいいと思う。庁舎の前に新築。お金のことも考えないで、将来のことを考えたら、新築がいいと思う。

(委員) 私は当初から新しく建てた方がいいと思っている。理由は、能登の輪島であるから（能登の中心となってほしい）。

(委員) 私はどちらかと言うと B1 案。

(委員) 私は 40 億円かけることは、反対に将来の人に負担を残すのではないかと思う。それだけ借金も出るし、20 年後はどうかなるか分からない。思いは新築であるが、例えば「補助金が欲しい」と言った時、「庁舎を建てているので出せない」と言われると困るので、A2 案だ。

(委員) 私も本来は新築だが、今後の輪島はどうなるのか、一市民として実は不安である。そう考えると、思い切った作戦では、今のところいけるのか、という考えもあるのも事実なので、A2 案です。

(委員) 私も色々説明を聞いて、予算のこともあり、人口のこと等もどうか分からないということで、今の建物を耐震して、またその後、仕上げていく方向がいいのではないかと、その時は考えました。しかしまた、色々なことをお聞きして、新築がいいかなとも思う。

(委員) 新築に賛成だが、新築した場合、大きなものを造って、財政の問題で孫や子どもに負担をかけるとなると、どうかかと。だから私は A2 案がいいと思う。将来に借金を残さないことや、だんだん人口も少なくなり、年金暮らしが多くなると、経済的な問題も出てくるので、そこも考えてしまう。あまり将来のことを考えていると何も出来ないのでは、考えつくまでの将来

はいいが、70年から100年後のことはその時代の人考えるべきかと思う。

(委員) 私はA2案。必要になった時に必要なものを造ってあげればいいと思う。

(委員) 私は新築。長い目で安心の方で、B1案。

(委員) 私は、すっきりと能登どころか石川県が全国に誇れるような庁舎を建てればいいと思っていたが、市の財政を見ると大変なことになっており、どちらを取っていいか混乱して分からないのが正直なところだ。現実的に考えると泣く泣く新築案をおいて改修案かと。A2案にならざるを得ない。

(会長) 私は耐震は将来に負担を残すので、建て替えるべきだと思う。建て替えるときに大きなものが欲しいのは分かるが、小さいもので将来のIT化等を見越して、効率のいい建物にするべきだと思う。でなければ、2度3度と同じことをしなくてはならない。文化会館のことも考えると、抑えるものは抑え、それも出来るような方針を立てないと、出来ないということになってしまうので、私はB1案だ。これで全員聞いたが。

(委員) 結局、皆さんの思いはある程度同じ。やはりお金を考えるとA2案に。一気につぶして建て替えるより、必要なところをやる。あまり醜い継ぎ足しは駄目だが、A2案は前方にきちんとしたものを一つ造り、その後ろを次に考えるということであれば。

(会長) 2段階でやれば出来る。

(委員) 私も新築と言っておきながら、お金のことを考えると、A2案になる。基本的に皆さんがお金のことを心配したり、それ以外の福祉や交通に影響したりするのであれば、A2案でもいい。そのあたりがちゃんと出来るという条件であれば、B案だと言っただけだ。

(委員) 私も一緒に、お金のことを考えないなら新築であったが、お金を考えるとA2案になる。

(委員) A2案のやり方も、逆に言うと委員の意見も取り入れて、やはり輪島市の顔なので。どーんと建てなくてもいいが、せめて新築する部分は顔だと思えるような形にしてほしい。

(委員) 前回、事務局より(財政面で)結構力強い発言があったが。

(事務局) 例えば、小中学校のエアコン整備の話や、公共交通対策等、様々なことから行政経費がかかるようになってきている。また事業費も総額で見ると、改修だと新築の2分の1というところだが、限られた財源を充当する中で、実質負担は6~7倍となる。あとは文化会館の改修等も考えると、ゴミ処理施設や防災無線などの課題があり、財源的に目一杯で出来るかというところも厳しい。また、報道によると交付税も前年1.5億円ほど減る状況であり、やはり先を見ながら、多少余裕を持った財政運営が必要かと思う。ただ最初から、あれもこれも財政的に無理だとすると、検討議論も進まない。その意味で前回は、整備するには何かしら影響があり、様々な行財政改革は行わなければならないことを申し上げた。

- 答申内容について

(会 長) 文化会館等も考えると、庁舎も抑えてやっていく中で、別に 2000 m²にこだわる必要があるのか。もう少し大きめにすれば 1 回で終わるのかもしれない。そこは実際やる時に工夫してやればいいのではないか。A・B のミックスタイプという答申になるだろうと思うので、形的には A2 案で絞り、少し工夫して、出来るものは文化会館の大ホールは長寿命化、あとの事務所棟は将来を見越して順次建て替えという方向性をちゃんと導くことで事業費も抑える。図書館や会議所の建替えは必ず出てくるので、それは視野に入れておかないと。市民が一番求めるのは、多分図書館だと思うので、その辺も少し入れた答申にすればどうかと思う。

(事務局) 会長が言われたように、答申の前に方向性を決めたので、これに対してパブリックコメントを 1 度とることでいいか。

(委 員) 異議なし。

(会 長) では、答申案を 1 回まとめて、案を作り、次回に答申案を皆さんに示して、パブリックコメントを求めた後に答申という形で。

(委 員) 答申案は委員の皆さんに見せて、その内容でいいか、全員一致でいいということであれば、それでパブリックコメントをとり、その結果を皆さんにお見せする、ということがいい。

(会 長) パブリックコメントの意見も付け加えるなら付け加えて、最終的に答申する。

6. 閉会

以上